

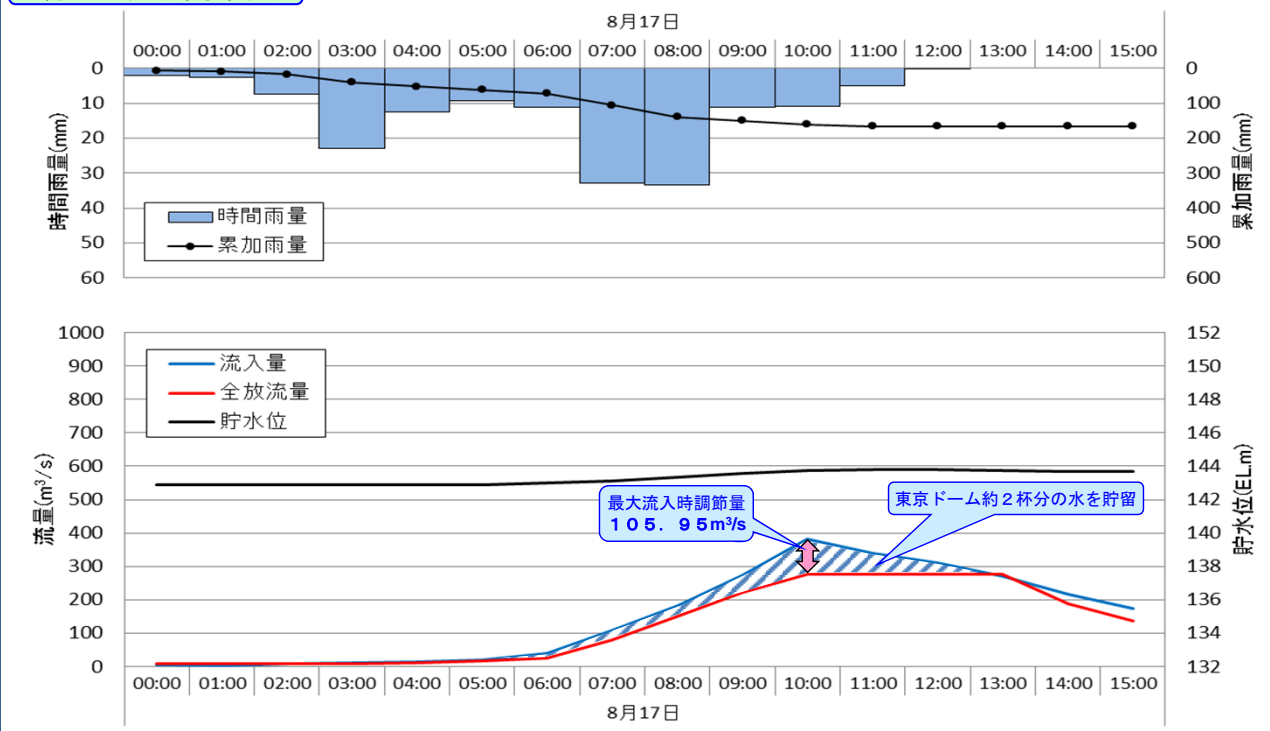
名取川水系 釜房ダムの水位低減効果（平成28年8月17日台風7号に伴う降雨）

- 釜房ダム上流域において、流域平均累加雨量は166.5mm、最大流入量は毎秒383m³となるなど、管理移行後第21位の流入量を記録しました。（全27洪水）
- 今回の洪水期間中において、**226万m³（東京ドーム約2杯分）の水を貯留**し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流の名取橋観測所地点では、**24cmの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。

位置図

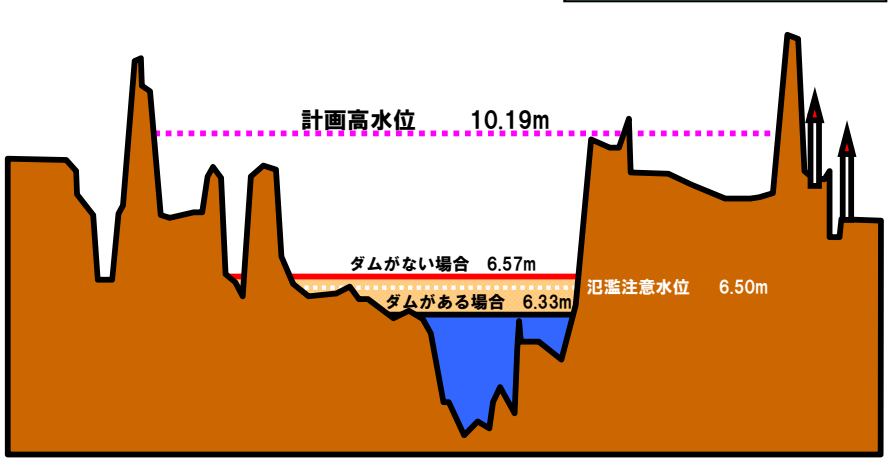


釜房ダム洪水調節状況



河川水位の状況（名取橋観測所）

ダム整備前：6.57m
 ダム整備後：6.33m
 →24cmの水位低減



釜房ダム状況写真（貯水位ピーク時）



釜房ダム貯水量配分

